

天敵を活用した防除技術の確立を目指して

令和4年8月1日に玉名地域振興局で関係者19名が出席し、トマト栽培における「天敵（タバコカスミカメ）利用によるタバココナジラミ防除対策技術の確立」に関する展示ほの調査結果報告と意見交換を行いました。

玉名支部の担当からほ場内のタバココナジラミとタバコカスミカメの個体数の調査結果などについて説明し、「温存植物であるクレオメを活用し、タバコカスミカメを10月と2月の2回放飼することでトマト栽培ほ場の春先のコナジラミの蔓延を抑え、作終了まで低密度に抑えることができた。」と報告しました。展示ほを担当した生産者からも「例年4月以降に増えてくるタバココナジラミが今年は増えず、タバコカスミカメの働きを実感できた。」「次作も天敵を活用したい。」など前向きな意見を多くいただきました。

今回の結果を基に現地普及を見据えながら、今後も技術確立に向け実証展示ほによるデータ収集やマニュアル作成等を行っていきます。



報告の様子



クレオメ



タバコカスミカメ